

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表			
事業所名	てらびあぼけっと海老名さがみ野駅前教室		
公表日	2026年	3月	20日
利用児童数	2026年	3月	1日 回収数15

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1			先生が子ども1人1人にしっかりついてくれるのが安心です。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14		1		そもそも教室が2階にある。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14			1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1				
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1			先生によってバラつきがある様に思えます。	本部研修でセラピーの制度向上と、ミーティング、話し合いによって共通認識を深めます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1		1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	6	3	3		コチラに関してはプライベートな問題もありご意見が分かれます。保護者様それぞれに確認して「必要だ」と思っていられる方に対して提案してみます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14			1	家族支援の時間を必ずしも月4回行わなきゃいけないが、それは必要なのか、強制的なのか、理解に苦しむところです。	家族支援の取り組み目的のご説明がなされてなかったと反省しております。取り組み目的と強制ではない事を周知してご理解頂けるようにいたします。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	2	4		家族支援の時間で色々教えて頂いています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15					
	17 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	12	3				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	6	7			保護者会などは特に無くて良いです。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1				
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	2	1	1		ブログをいつも楽しみにしています。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	2		1			
非常 時 等 の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		1		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	2	5		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	3		1		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1				
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	15					
	29 事業所の支援に満足していますか。	14	1			ありがとうございます。これからも宜しくお願い致します。	

事業所における自己評価結果

公表						
事業所名	てらびあぼけっと海老名さがみ野駅前教室					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・お子様のご利用が4名の時間の場合、個室は3つなので、大部屋も個室と捉えてマンツーマン療育を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	5		・利用人数にプラスして数名の職員がいる事で、お子様の状態に応じてその日の担当職員以外も対応出来るので良いと思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・視覚的支援の為に掲示物を貼り出し、1日の流れもイラストと一緒に始まりの会で説明しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・1クール毎に清掃、消毒、空気の入替えを行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・個室でのセラピー終了後も、状況に応じてクールダウンで使用する等、工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・お子様との関わり方や伝え方に困った際は、他職員と内容を共有し、振り返りや業務向上に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・空き時間がある場合は職員全員で情報を共有して、改善に繋がる話し合いを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・上記と同様に、空き時間がある場合は職員全員で情報を共有して、改善に繋がる話し合いを行っている。	・全体で情報の共有が出来ていないことがある為、全体での話し合いの場を定期的に作って行く。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	・本部の職員さんが抜打ちで訪問されることがあり、その際に頂けるアドバイスを改善に繋げている。	・第三者とは、別業者に依頼して評価してもらうという事でしょうか。それは行っていませんので、必要な事であれば提案します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・研修開催の呼びかけや、参加する時間が設けられている。	・研修の案内はあるが参加できないことが多い為、事前に内容を把握して参加できるようにしていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・保護者様とやり取りを行うセラピーノートで、現在行っているプログラムをお伝えしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・保護者からの話しを丁寧に聞き取り、支援計画に反映できている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・空き時間を利用したり、書面で意見交換を行ったりもしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・計画に沿った支援や、成長に合わせた支援を行えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・日々の行動観察を行ったうえで、様々な方法を試すことが出来る。 ・個人ファイルでの行動記録、連絡帳、終礼などで申し送りを行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・お子様の現状に合わせた項目の設定をし、支援内容も具体的である。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・ルールのある遊びなどは子供達と一緒に遊べるものを立案している。 ・職員全員で意見を言うようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・リズムウォークが曲、動き共にパターン化して来ているので、新たな曲と動きを取り入れる。 ・子供の成長に合わせてその都度プログラムを構成するようにしている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・集団活動のバリエーションを増やして行きます。 ・就学が近い子は集団に少しずつ慣れることが出来るよう、集団生活を行う機会も作っている。	・てらびあぼけっとがマンツーマン療育をメインとしている為、項目の「個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成」には当てはまらない。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	・職員間で声掛けを行い打ち合わせを行っています。 ・終礼時に全職員で本日のセラピーの申し送りを行っている。	・出勤時間が異なる職員がいる為、必要な事項は前日の終礼時に漏れ、忘れが無いようにする。	
21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・終礼時に全職員で本日のセラピーの申し送りを行っている。		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・セラピーファイルに記録を残し、全職員で共有している。 ・セラピーの内容のみではなく、保護者の方の伝達事項も赤字などで記入するようにしている。		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・必ず半年に一度見直し改善している。		
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・基本的には児発管が参加しているが、児発管に限らずセラピストも参加して行けるように行こうと思っている。		
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・お子様が通っている保育園や幼稚園、医療機関とも連携を行い支援に繋げている。		
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・保護者様の希望で参加しており、依頼が無くても必要と感じるなら提案をしている。		

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4		・児童発達支援なので小学校との連携は無いが、保護者様にも協力して頂き、子供たちが就学後に困らないように情報共有して行きます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外郎研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	5			・市の主催しているものには参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5			・ご利用のお子様の状態が様々な為、外での活動は難しく、実施は難しいと考えます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・保護者様からの意見を踏まえて、お子様の課題を支援することが出来ている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		・ペアトレは行ってないが相談業務に力を入れており、そちらで家族の対応力の向上を図っている。 ・保護者様との話し合いで支援を行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			・見学や契約時に、実際にセラピーを見て頂いての説明や、様子もお伝えしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			・面談の時間を設けて寄り添うことが出来ている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			・担当者から説明をしたうえで同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			・家族支援の時間を活用して支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5			・プライバシーの問題もあり、これに関しては「必要ない」と仰る保護者様もいらっしゃるのではとも言えないのが現状です。 ・保護者同士の関りの場は今まで無く、あっても同じ時間にお子様を通っているお迎え時に、毎回顔合わせしている程度。家族支援を複数名で行い接する機会を作ってみます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1			・迅速な対応は出来ていないように思えるので、体制を見直して行きます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		・今後も同様にSNSを活用して情報を発信していきます。 ・教室のブログを楽しみにされている保護者様もいらっしゃいますので、伝わっていると考えています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			・鍵付きの書庫に保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			・面談等を通じて行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5			・開所日は療育を行うことを優先していることと、やはりプライバシーの問題があることで、「地域住民を招待する」は必要とは考えずらい。「地域に開かれた事業運営を図っているか」に関してはSNSを活用して事業について広めて行きます。 ・てらびあげつとには年間行事を行うプログラムが存在しないので行っていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	4		・地震や火災など、どのような災害なのかを想定したうえで、適切に対応できるように訓練を行っている。	・お子様がいての避難訓練は行ってない。複数名お子様がいての時間に避難訓練を行う提案をします。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	3		・年に数回行っている、行えばインスタやブログで発信している。	・お子様がいての避難訓練は行ってない。複数名お子様がいての時間に避難訓練を行う提案をします。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	2		・見学時等に事前に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		・食事介助をすることは無いが、アレルギーがあることは周知している。	・食物アレルギーのあるお子様が今はいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		・空時間に研修や訓練の実施などを行っている。	・100%出来ているかと問われると出来ていない。研修の時間を作って解消して行きます。 ・訓練の回数が少ない。回数の増加は悪い事ではないので、訓練回数の増加を提案します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		・連絡先の確認などを行い、お子様の安全確保をしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5			・ファイルに記録を残して事業所内で共有できるようにしている。 ・記録を残し、全員で確認、再発防止の話し合いも行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・空時間に研修を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		・説明して了承して頂き記載している。	・身体拘束の基準が定かではない為、話し合いの場を設けて全員で共有します。	

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	てらびあぼけっと海老名さがみ野駅前教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 4日		2026年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 4日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 7日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当教室は駅からのアクセスが良い事を強みと捉えています。それは職員にしても、利用者さんにしても便利なことです。	求人では「駅近徒歩〇分！」を売りに、見学などで電車利用の方の場合も駅近を売りにしています。	立地に関する事で更なる充実を測ることは難しいので、「アクセスが良い事でのメリットを更に模索して、どんな方法で、どのようなアプローチを行うと、利用者様・勤務者さんにより便利だと届くか」を考えます。
2	ABAはスモールステップで褒めて伸ばす療育なので、私たち職員が基本的にはお子様を注意することが少ないことで、ピリピリせずに穏やかに仕事ができる。	人としての成長で人間力が上がれば全てが向上すると考えますので、会社としてのルールや志しをPOPにし、全員が目につく箇所に貼り出しています。	人はラクしようとするもので、ルールが無いと緩い方へ流れて行きますし、ルールがあっても守らなくなります。同じ職場の仲間同士で良くない事を見たり聞いたりしたら、上司部下・先輩後輩関係なく「あ、それやめましょう」と気軽に言える環境を作ることが理想と考え取り組んでますがなかなか…諦めずに引き続き取り組みます。
3	1日に関わるお子様の人数が幼稚園や保育園に比べると圧倒的に少ない分、1人のお子様に対してより濃い療育が提供出来る場所。	その日に担当した者だけでなく、職員全体でお子様を把握できるように終礼での申し送り、詳細には記録に残し、全職員の意識の違いと認識のズレを極力無くす。	更なるセラピー力の向上の為、毎月の本部講座への積極参加。共通認識を深める為、ミーティングの回数を増やします。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者さんの急な休みが多い事で、集団や個別で予定していたプログラム内容が急に白紙になることがある。	送迎が無い分、利用のお子様か、送り迎えを行う保護者様の、どちらかの体調やご都合が少しでも悪くなれば欠席となる。	送迎は考えていないので、お子様が休みになった事で出来なかったプログラム内容も記録に残して、次の来所時にと頭を切り替える。
2	土曜日希望の利用者さんが多く、しかし受入れの上限が10名なのでお断りすることが多くある。	利用者さんは、幼稚園・保育園が休みの土日の利用希望が多い事は当然なこと。てらびあぼけっとのプログラムや事業所の設計は1クール4名受入れ可能なので、5営業日の事業所さんは「週の受入れMAXは50名」などに法改正が行われ、利用者様人数は1日ではなく1週で考えられる様になれば良いと思います。	左記の案は1事業所の力で何か変わるものではないので、「てらびあぼけっととして」本部に国に？訴え、交渉、根気よく行ってほしいです。
3	職員さん達の人間関係が上手くいってないことがあります。	責任者の人間性。	責任者とはシッカリ向き合って話し合って改善して行きます。職員さん達のストレス改善・プライベート充実で、定休日の週2日に加え、2026年度から一部の祝日も定休日としました。